

令和7年度第2回 鹿島区地域協議会 会議録

＜地域協議会の日時・場所＞

1. 日 時:令和 7 年5月27日(火)
午後 1 時 30 分～午後3時30分
2. 場 所:鹿島区役所 2 階大会議室

【 会 議 録 】

1 開 会

○事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数 15 名

【出席委員数】 13名

草野繁春、草野禎夫、高野邦弘、太田真樹子、服部隆男
高橋昭一、鈴木清教、大河内俊樹、鎌田博信、北元幸一
長澤初男、豊田真由美、今野 愛

【欠席委員数】 2名

大谷和年、藏野文絵

上記のとおり、委員の過半数の出席のため成立していることを確認します。

2 会長あいさつ

高野会長よりあいさつ

3 区役所長あいさつ

4 会議録署名人の指名

高野会長が会議録署名人に鎌田博信委員と長澤初男委員を指名した。

5 議事

(1) 報告事項

南相馬市鹿島サービスエリア周辺開発基本計画(素案)に係る
パブリックコメント手続の実施について

- 高野会長 南相馬市鹿島サービスエリア周辺開発基本計画(素案)に係るパブリックコメント手続の実施についての議題といたします。担当課より説明をお願いします。

≪ 鹿島区地域振興課 資料1 により説明 ≫

- 高野会長 説明が終わりました。質疑に入りたいと思います。挙手の上、ご発言をお願いいたします。草野委員、お願いします。

- 草野委員 頂いた資料を読ませていただきました。実際この話は3年前から出ていたんですよ。商工会としても当時、江袋部長が担当として、一生懸命委員会で、いろんな討議をなさったと思います。正直なこと言うと、この計画がなかなか見えて来なかったです。初めてある意味では煮詰まった素案ができて、若干ほっとはしております。巨大なプロジェクトだと思います。市のほうで36億、あとは民間業者が60億ですから、これは本当に足すと96億ですから、地域にとっては非常に巨大なプロジェクトだと思います。このプロジェクトが具現化して、この地域にとって、コンセプトにある「伝えたくなる、一緒に育てる、まちをつくる」この3点は、非常に期待していきたいコンセプトなんですよ。ですから、これが本当に具現化するのであれば、この地域そのものにも、かなりの波及効果が見えてくると思います。雇用の面でもそうですし、新しいものが生み出されるんじゃないかと思います。そういう中で本当にこれは期待していきたいと思うんですけど、若干心配があるわけです。この間新聞で、大熊でも巨大SAをつくるなんていう、そういうふうな計画発表されたんです。大熊と鹿島っていうのはせいぜい50何キロしか離れていません。そういう案が出たとしても、鹿島区においてはやっぱりそれ早急にやるんだっていう、そこら辺の意思表示を早めに決めていただきたい。そんな思いがいたします。さまざまな膨大な資料なんですけど、新しいものを生み出すような、そういうものが出てくるような可能性が秘めていると感じました。大熊がどうなっているのか、ちょっと不安なもんですから、伺いたいと思います。

○高野会長 説明をお願いします。

○鹿島区活性化担当課長 はい、ありがとうございます。大熊のパーキングエリアの計画についてご発言がありました。まず大熊のパーキングエリアに関しては予定どおり整備されたとすれば、こちらから35キロほど離れた場所に出来るということになりますので、確かに榎葉と鹿島が50キロなので、若干短くなると行ったところで当然多少影響は出てくるのかなと思っておりませんが、それだけ離れていれば、集客が見込めるのかなというところがまず一つと、先日実はちょっと大熊町役場のほうにもお邪魔しまして、色々と意見交換をさせていただいてきましたけど、大熊に関しては、まだ、住民の帰還が十分に進んでおりませんので、地元の企業というのがほぼ今動いていない状態ということになると、実際にパーキングエリアや隣接したところの道の駅にできる商業施設は、基本的には市外から入ってくるようなものになってくるのかなと思っております。そこが私どもの1番大きな違いかなと思ってまして、我々は地元の特色というのを前面に出していきたいと思っておりますので、それがイコール、その場所の差別化にも繋がると考えておりますし、そこでの集客力というのは、我々のほうが勝っているのかなというふうに思っているというのが一つと、あと1番期待するところは今回の計画の中では、今150万人というところが250万人に増えるという見通しを立てているんですけども、こちらに関しては、東京から仙台まで常磐道で4車線化するという事を見込んでいない予測になります。4車線化が実現しなくてもこれぐらいまで増えるという見込みをしているんですけども、仮に全線4車線化した場合、東北道と常磐道が今並んで、東京から仙台まで走ってるような状況になりますけれども、今ざっくりですね、東北道が1日大体通行車両が5万台ぐらい、常磐道の場合は1万台ぐらいなんです。何でそんなに差がついてるかというと、常磐道は片側1車線のところが非常に多くて、早く走ることがちょっと難しい状況ということがありますので、全線4車線化することによってデメリットが解消されると、今5対1のところが4対2とか、場合によっては3対3というところまでいけるんじゃないかと思います。というのは、常磐道のほうが距離も短いですし、皆さん走っていただいて、実感いただいていると思うんですけども、東北道に比べて常磐道のほうがかなり、道路の形が真っすぐのところが多くて、非常に走りやすい、。さらには冬の期間は雪が少なく、すごく走りやすい条件が整っておりますので、そうしたところで、交通量が増えることも期待できるといったところで我々の見込んでいるというのは、実現性はあるんじゃないかなというふうに考えております。以上です。

○高野会長 草野委員よろしいですか。

○草野委員 セデッテかしまはこの150万ということは、よそにないものを持ってると私は思っています。今ほとんどのSAはネクスコ主体で大体似てきています。ですからそういう面では、独自性というのは持ってますから、最大限に生かしていただきたい

と思います。あとは、もう1点質問ですけど、土地も既存エリア、それから今度の事業エリアにおいて、かなり広大な土地なんですけど、この辺の交渉ですけど、まずそこから辺伺いたいと思います。

○高野会長 お願いします。

○鹿島区活性化担当課長 今、計画をつくっている段階なので、具体的な交渉というところまではまだ当然至っていないところなんですけど、これまで地権者の皆さんに説明会を2回ほど開催させていただいておりまして、その中では一切反対意見などがなく皆さん良好な反応をいただいております。以上です。

○高野会長 草野委員よろしいですか。ほかに皆さんからご質問ないですか。長澤委員、お願いします。

○長澤委員 膨大な計画でありますけれども、ぜひこれを実現できれば素晴らしい南相馬そして鹿島になるだろうと期待しております。2030年目標年度ですから、この状態だけみるとちょっと時間あるわけです。そういう状態でもないなと思ってます。基本的には、この計画を出すための接触をしてきた民間業者の中で、好感触を得ているという内容のようですが、具体的にはどういう反応を示したのか。お聞かせいただきたい。

○高野会長 お願いします。

○鹿島区活性化担当課長 建設関係の業者さんである方からは、かなり良い反応をいただいております、さらに計画の中にも入ってるんですけど、その高速道路でのサービスエリアの脇で、地元の自治体が、商業施設を整備していくケースというのが、極めて全国的にもまれな状況というところがありまして、今のセデッテかしまの状態でも、かなり珍しい状況なんです。そういう意味で言うと、高速道路上、パーキングエリアとかサービスエリアとかいっぱいありますので、今回のこの事業が成功するとほかのところでも、同じような事業が展開できるのではないかと。そういう可能性を感じるとおっしゃっていただいております。通常の施設整備とかですと、施設をつくって、全く人通りがないところに新しい人の流れをつくるというのが、通常の施設整備かなというふうに思ってるんですけども、既に人の流れが、ある意味では確約されてる状態なので、そこをすごく強みだというふうに言っております。以上です。

○長澤委員 あともう1点ですね、目玉に花見山構想がありますけども、この花見山に行く、連絡道路っていうか、そういう関係については、アンダーの状態になるんでしょう

けども、1本なんですかそれとも何箇所かできるような感じですか。

○高野会長 回答をお願いします。

○鹿島区活性化担当課長 現状、道路1本で花見山というか、東屋のところにいくことが可能でして、そこを増やすというところまでの検討に至ってはいないところなんです。そこはまた今後、検討を進めていきたいなと思っております。

○高野会長 長澤委員、お願いします。

○長澤委員 眺望の関連がありまから、そちらも打ち合わせをしながら、進めていくんだと思いますけれども、1カ所ではどうなのかなという心配もありますよね。例えば、西側の花見山のほうのところにいける状態を別のルートでいけるような形で侵入させる状態もあるかと思うんですよね。そういう可能性も含めて、今後検討していただければと思います。

○鹿島区活性化担当課長 現段階では、正直に申し上げれば、花見山を遠くから眺めるというイメージで考えておりましたけれども、当然今ご意見のように、実際傍に行って観賞したいというニーズもあると思っておりますので、そこは引き続き検討させていただきたいと思います。以上です。

○高野会長 長澤委員よろしいですか。ほかに、ご質問等ございませんか。鈴木委員、お願いします。

○鈴木委員 このサービスエリアも供用開始してもう10年になりますが、当初、鹿島区だったので、最初からこういうのはオアシス構想を考えながら、このサービスエリアを強化してきたはずで。少しもっと早めないと、全国でもどんどん始まってくる。これから5年間かけて協力会社でしょ。今ちょっと早いほうがいいと思うのですがいかがですか。

○高野会長 お願いします。

○鹿島区活性化担当課長 我々もできるだけ早くしたいところはやまやまではあるんですけども、先ほどからお話しにあるとおり、かなり今回大きな事業でさらに事業の期間としても、これまでにない20年間という想定をしております。そういう意味ではこれから、今、計画として、ある意味ざっくりしたところをお示ししておりますけれども、これから2年ぐらいかけて、細かい条件を詰めていく必要があると思っております。そうすることで、これだけ大きな金額を投資しても大丈夫だという状況をつくり出してい

くということで、ここはどうしても必要な期間だと思っております。設計と建設工事でやはり3年ぐらいかかりますので、そこは民間事業者さんのノウハウを使ってできるだけ短縮化していきたいと思っておりますけれども、必要な期間は、しっかりかけていいものつくっていきたいと思っております。以上です。

○高野会長 鈴木委員よろしいですか。ほかにないですか。草野委員、お願いします。

○草野委員 花見山ですけど、これだけの巨大なプロジェクトだといろんな波及効果があるって言いましたけど、実は鹿島の業者で、セデッテかしまの周辺整備の話聞いた業者なんですけど、地元にそういう山持ってる方なんですけど、そういうものもつuitたのがつくりたいと。そうなるとやっぱりセデッテかしまが、外に出ていけるような、そんな流れが出てくるのが1番理想だと思うんですよね。図面で見ても伝承館とありますよね。伝承館そのものは、情報発信の場っていうかそういう施設にしてもいいんじゃないかと思うんです。南相馬市の魅力を伝える場所として野馬追だけでなく、南相馬市全体の魅力発信です。これによって、外に出てくることによって、いろんなものがまたそこで生まれるという可能性もありますから、その辺も踏まえて、今後の検討なんだろうけど、できればそんな流れができればいいなと思います。意見です。

○高野会長 意見ということですけどもお願いします。

○鹿島区活性化担当課長 私どももそこが今回の重要な使命かなと思っております、分厚いほうの53ページでまちをつくるSAっていうコンセプトを設定しておりますけれども、その右側の1番上にまちに人を送り出すということで、従来は、パンフレットを置き、来た人に関心を持ってもらい、手に取って初めて情報が届くという形でしたけれども、積極的にこちらから情報を伝えるような仕掛けというのを、これから考えていきたいなと思っております。そこがどうしても、役所として苦手にしている分野でもありましたので、こういうところで民間事業者さんのノウハウ、アイデアを出していただきながら、しっかり町に下りていただけるような形を我々も目指していきたいと思っております。以上です。

○高野会長 ほかにないですか。大河内委員、お願いします。

○大河内委員 要望になってしまうという2点ほどありまして、これだけの大きいプロジェクトですので南相馬市と民間事業者とお金出すところって、二つに分かれて怖いのがやっぱりまだ計画の段階ですのでこの民間事業者でやる予定というかこういった施設の内容なんかも変わってくる可能性ってもちろんあると思うんです。そうなったときに、鹿島の地域協議会なので、鹿島の人たちがやっぱりちゃんと行ける場所という

かですねそういったところは確保してほしいというか、外からのお客さんを呼び込む施設ということがすごく伝わってくるんですが、やっぱり私たちと、大熊の道の駅とは、地元の住民がいるかないかは大きな違いだと思います。中学校の生徒会の子達とお話しさせてもらった際に、土日どこで遊んでいるのか問うと、鹿島にないっていうんですね。大体は仙台に遊びに行ってるといった話なので、私たちの時代とも違うと思うんですけれども、特に、若い世代の子供たちが地域に愛着を持つように、このセデッテかしまはそういった意味で魅力的な開発なのかなと思いますので、子供たちが遊びに行けるような場所があると、お金を生まないかもしれないんですけれども、地域の人たちは是非、愛着を持ったような施設をいろいろ計画を変更していくとは思っているんですけれども、そのことは要望としてはお願いしたいと思います。それともう一つ、まちをつくるってということで、今後、セデッテかしまが盛り上がってきたときに、町とのアクセスということで、セデッテかしまから町への、例えばですけどその周遊バスで、あとはサイクリングロードなんかも中途半端な状態ではあると思うので、そういったところもセデッテかしまを起点としてというかですね、鹿島区を全体として、こんないい流れをつなげていけるような計画っていうのも、セデッテかしまの後にお願いしたいなっていうふうに要望としてよろしくお願いします。

○高野会長 要望ですがお願いします。

○鹿島区活性化担当課長 今回の課題設定の中でも、やはりその地元の中で、自慢できる場所がないとか、外からお客さんが来たときに案内できる場所がないというところは、一つの課題として、我々も認識しておりまして、その解決を図る意味でも今回の事業というのは、位置づけされているのかなというふうには認識しておりますので、今のご意見というのはしっかり意識しながら進めていきたいと思います。ありがとうございます。

○高野会長 ほかにないですか。鎌田委員、お願いします。

○鎌田委員 2030年を目標にっていうことなんですけど、とりあえずこれ事業始めますってなったときに、逆に言えば2030年から遅れるような要素とかそういう遅れるとすれば、何年遅れてしまうようなことっていうのは一応想定をされているんでしょうか。

○高野会長 お願いします。

○鹿島区活性化担当課長 遅れる要素というのは実際存在してまして、例えば、浮田小山田地区は、地下に埋蔵文化財があるところでして、その状況によっては遅れる可能性が出てくると思っております。今回の開発は密集して、施設を整備するもの

ではないので、極力その場所を避けることは可能だと思っておりますけれども、可能性としてはあると思っております。仮に見つかったときに、今想定しているところでは、2年ほど遅れる可能性はあると考えております。以上です。

○高野会長 よろしいですか。

○鎌田委員 どれだけ遅れても2032年までにできればいいなと思います。

○高野会長 それでは皆さん、ちょっと長くなりましたけど、もう少し、質問等あればと思いますけども、草野委員、お願いします。

○草野委員 敷地、かなり広いですよ。この中でこの拡張余地がありますよね。この拡張余地に関しては、この道を確保しておきたいのか、そもそも予算の中にはいっていないのか。そのあたりお願いします。

○高野会長 回答をお願いします。

○鹿島区活性化担当課長 初期投資のほうで今36億円ほど見込んでおりますけれども、一応その中には拡張余地も含めて、試算はしておりまして、今後の展開などを考えると、できれば取得していけたらなというふうには考えております。以上です。

○草野委員 これが上手くいって軌道に乗っていければ、拡張余地も含めて新たな展開ができると捉えていいわけですよ。私もSAの建設のときの委員だったものですから、あの時提案っていうか、話があったんですけど、セデッテかしま高台になっていって上ると海が見えるんですよ。展望台のような海が見える場所があるとおもしろいと思いましたから、ぜひその辺も頭の中に入れていただければと思います。

○鹿島区活性化担当課長 現状、先ほど話がありましたけど、花見山というかセデッテの西側に東屋が高いところにあり、おっしゃったとおりそこから海が見える場所というのはありますので、その整備も含めて、今後検討していきたいと思います。以上です。

○高野会長 それでは長くなりましたのでこの辺で打ち切りたいと思います。最後に私のほうからちょっと要望ということでございますけれども、セデッテかしまにつきましては、そもそもいわきから仙台まで一つもSAがないということで、ここに寄るしかないといった要因で150万人が来てるのかなと思います。先ほどからお話ありましたように、大熊や鳥の海にSAなどをつくられてしまうと、そちらに流れて分散してしまいますから、少しスピード感が大事だと思います。しかし、まだ工事は、どうしても期間が

かかってしまう。南相馬市で、セデッテかしまにこのような構想のものをつくるんだというPRを少しでも早く出していくと。具体的な案について、PRしていくということが大事なのかなと思います。これがないと、民間の事業者もなかなか入ってこれない。収益確保できるから入ってくるわけですので、その辺のことも別な角度から検討していただきたいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。それでは、発言が終わったという事でございます。本案件につきましては、ご異議がないものといいたします。ありがとうございました。

鹿島区市街地の道路ネットワーク検討会について

はい。それでは、次に移ります。鹿島区市街地の道路ネットワーク検討会についての議題といたします。担当課に説明を求めます。

≪ 土木課 資料2 により説明 ≫

○高野会長 ありがとうございました。それでは説明が終わりましたので質問のほうに入ります。質問のある方は挙手の上、ご発言をお願いいたします。草野委員、お願いします。

○草野委員 今、説明受けまして、検討委員からの意見の中で、全体的に考えてほしいという意見もありますし、あと優先順位、これは非常に大事だと思うんですけど、鹿島の中心地が歯抜けの状態になってます。総合的に考えていかないと難しい問題だと思うんですね。ですから、優先順位をつけていただいて、それを、やはりこの私たち住民に知らせていただくことによって安心感が生まれると思うんですね。その辺お願いしたいと思います。あと、本当にこの構造的なんでしょうけど、6号線と踏切と旧道が本当に狭くて、結局は踏切を通らなければ渡れない状況なんですね。それが、今回の野馬追でも列車に馬がはねられるという重大事故が起こりました。あれがもし人でしたら大変なことになったと思うんですけど、これは本当に非常に重要な部分かと思います。私も朝方通りますと、間隔が狭いものですから、車がいっぱいで踏切を横断するか困ってるような感じの状況も見受けられます。これは非常に危険だと思うんですね。ですからその辺は優先順位付けていただいて、あとは総合的に考えてもらって早めにこれを実現していただきたいと思ってます。

○高野会長 お願いします。

○土木課 今ほど草野委員のほうから、全体的に考えて欲しいという話と優先順位という部分がございました。全体的に考えるという部分では、今回令和6年度各委員の皆様に協力をいただきながら、課題と課題に向けた解決策ということで、それぞれ意見をいただきました。その中で、繰り返しになりますけどもやはり、鹿島の北側の玄関口6号から市街地に入る玄関口が横手踏切、茂木踏切間ここがやっぱり弱いということで、これ旧鹿島町時代からの懸案事項だったと思います。そこがやっぱり意見としては1番大きかったというふうに考えております。ただ一方で国、JR、福島県すべて絡んでくる話なので、かなり難易度も高いという作業になります。我々としては既に先週福島県のほうとも協議も行ってます。できるだけ協議を進めて事業化、できるかできないかという部分もありますけども、できるだけ形にするように、関係機関との協議はなるべく前倒し前倒しで進めていきたいと国、JRのほうも、令和6年度に意見交換やってますけども、この報告書を受けて具体的に、今年度も協議を進めていきたいというふうに思っております。あと全体的な考えというの部分では、やはりその時代によってニーズも変わりますので、例えば、土地の利用状況によって、車の流れも変わるなどいろいろあると思います。今後、5年後10年後という部分で、現時点はこの鹿島6号と市街地とあとは中学校も含めたネットワークということで、今回まとめさせていただきましたけれども、今後、大きな例えば土地利用の変化も今後考えられますので、これがすべてというよりは、随時検証しながら、そこで優先順位も検証しながら、進めていきたいというふうに考えております。一つでも形残るように頑張りたいと思います。以上です。

○高野会長 草野委員よろしいですか。ほかにないですか。長澤委員、お願いします。

○長澤委員 まずこの検討委員の方々にまとめていただいたことに、感謝申し上げたいと思います。取組みの状態としては、適切な状態だと思いますが、これをどのように実行していくのかというのが1番の対応だと思います。検討結果の図面のところを見ますと、これは今始まったことではなくて、鹿島の突き当りで曲がるという状態は、何箇所もあります。これはもう鹿島の特徴だったんです。これは何とか解消して行こうと我々も、頑張ってきたんですが、なかなかこの状態に至らなかった。特に鹿島の駐在所のところに、国道から来る道っていうあれは1番中学校に抜ける道路としては1番重要な部分です。これを何とかしなければならぬんだと。昔は駐在所が6号線に移転した時に警察官のほうで、苦情が出て、大変だから、何とか町のほうに、騒音妨害にならないようにしてくれるかと。東北電力の土地を協力していただいてつくったところなんです。建ってしまったので、中学校に行く道を含めてここが一番大きな重点箇所だと思います。それと今すぐにでもできることは、中学校の道路からフレスコのほうに抜ける道路南側に、北側のところ劣化の状態で囲い木を伐採しましたよね。道路が見えるもんですから、あれを何とかしたらいいんじゃないかと。これはもう前

から言ってきたんですよ。地権者の協力がないとできないもので、今こそできるんじゃないかと。何とか交渉する価値があるなと思ってます。これが1点で一番。優先順位決めていくとのことですから、そのところを決めていかないと。そして横手の踏切の所ですね。今回残念ながら野馬追の馬が列車とぶつかって亡くなってしまった。これは道路が悪いのかどうなのかとありますが、6号線のほうに踏切を渡ると待たないとすれ違えない。そういうところを無くしていかないとだめだと思うんですよ。ここに二つの踏切があるからそれを一つの状態にしたらどうかなんていう意見もありますけども、これは早急にやるべきじゃないかと思っています。それとここにありませんけれども、セデッテかしまアクセス道路の車側の改良については、私のところの交差点まで出来ただけですけどできていないんですね。買収が終わったけども、予算がつかないということだと思うんですよ。だからこれを何とか県に対応してもらい、先ほどの大構想が、2030年まであるんですから、急がないとだめだなと。用地に関しては補助整備が令和9年度から始まるということですから、用地はもう確保できるという状態で補助整備の委員会のほうでも、確保するような形で対応するんだよね。となると、残り1キロの状態だから、そんなに難しい状態ではないです。ただ県がやる気があるかないかだと思うけども、そんなことで県に、この状態を強く対応していただくように要請をしてもらわなければならないと思います。

○高野会長 何か回答ありますか。

○土木課 長澤委員からたくさんのおアドバイスありがとうございます。今ほど出た意見アドバイス、考え方、解決策っていうのは、割と検討会の中でも多く、同じような同様の意見が出されました。ちょっと1個ずつ整理しますと、まずその踏切問題については、先ほども説明しましたとおり、かなり国、JR、福島県、あとは、そこやっぱり事業化するためには、都市計画道路の見直し位置づけが必要になるだろうという、かなり大事業になるので、そうしないと国も県も動かせないだろうということで、相当協議に時間がかかるのでそこで如何に事業化まで持っていくかっていうところが手腕が問われる、そこはちょっと時間がかかると思います。一方で、鹿島の市街地クランクが多いようになっていう話で、これまさに、検討会の中でもそういう意見が出ました。実際南相馬市に地元に住んでる人たちは、それが当たり前になっている部分の中にはあるかもしれないですけども。その委員の中で、福島県の職員がいたんですね、地元の人じゃないんですよ。改めて鹿島の市街地をぐるぐる回ったときにやったらこうT字路が多い。真っすぐ行きたいんだけど全部クランクになっている。これが鹿島区の市街地の特徴で、これがネックなんじゃないかっていう、まさにこれは市外から来た人のすばらしい目線だなと私も感心しまして、そういったところをやっぱり、今年の事業で解決していかなければいけないというふうに考えています。この図面でいくと、長澤委員がまず1番最初にクランクと言った、派出所の横の橋の部分ですね、セブンイレブンから真っすぐ行ってT字路になります。クランクになって橋があり

ます。ここが真っすぐ通れば、中学校までのアクセスがスムーズになります。今回の報告書でまとめさせていただきましたけれども、あれだけの橋をかけ直すってなると、相当時間がかかりそれだけで事業がすべて終わっちゃう可能性があるんで、なかなかハードルが高いなと思っています。一方でほかの2カ所緑の部分、中学校から南側にずっと向かってきたところクランクになって、今だったら用地うまくいくんじゃないかみたいな話ありましたけれども、まさにここを優先的に進めようかっていうことで、市の方も考えています。もう一つ中学校の北側に緑カ所がありますここが、中143号線の岡和田地区なんですけども、補助整備で既に用地を確保して、今年度、工事費の予算を取りました。本来であれば、上真野地区の通学路にもなっているんで、一気に終わらせたかったんですけども、補助整備のパイプラインの関係で、一気に仕上げる事ができなくて、今のところ2カ年で、仕上げると。とりあえず手戻りにならないとこまで今年度仕上げて、パイプラインが終わったところを見計らって仕上げるような、そういった形で進めていきたいと考えています。なので、ここの緑の部分で、中学校の北側と南側の部分は市のほうで優先的に進めたいと思っています。最後に、アクセス道路っていう話出ました。この検討会の中で、A班とB班がありまして、A班は、セデツカしまから下りるとT字路にぶつかるが、そこを真っすぐ抜いたらと意見が出ました。それは理想であり、私もそれがいいなと思うんですけども、土木課で試算したところ、トンネルも必要になり、相当金額がかさむことが、試算として出てます。一方で、B班は現実的に真っすぐすることは難しいのではないかと。今ある相馬浪江線と、草野大倉鹿島線、これの既存の道路を、歩道がない箇所と交差点とか、そういう悪いところがあれば部分的に改善して、そこをアクセス道路として有効活用したほうがいいんじゃないかっていう意見も出ましたので、市としては、先ほど藤原課長からも、SA周辺の説明ございましたけれども、そちらと連携をとりながら、アクセス道路についても、あわせて検討していきたいなと考えております。以上です。

○高野会長 よろしいですか。

○長澤委員 前向きな状況で取り組んでいただければと思います。土木課は、木幡さんを中心に積極的な対応してますから、期待をしたいと思います。防犯灯、それから横断歩道ですね。防犯灯関係については以前、合併するときに100メートルごとに1カ所ずつつくるという計画で進めたはずなんですよ。ところがあまり鹿島区使っていないですね。だからこれは中学校の通学路で以前そこを重点的に対応しようとしていた。私はその責任者で対応した経過があります。電力側も予算関係については、市のほうにも定期的な状態で、協力するはずですので、電力にも働きかける必要があると思います。今後対応していくような形で、ぜひお願いしたいと思います。

○高野会長 お願いします。

○土木課 長澤委員のほうから、中学校、学校周辺通学路安全対策も含めて、防犯灯だったり防犯対策であったり、交差点の安全対策だったりっていう意見がございました。まさにその通りだと思います。防犯灯のことで言いますと、令和6年度に、鹿島小と八沢小が統合するっていうことが決まってから、学校に照会をかけまして、八沢地区から鹿島小のルートに、防犯灯を設置可能なところに設置をしております。もう一つ大きいのがあって、今、長澤委員のほうから旧鹿島町時代100メートルに1カ所ずつつけていたとありました。令和6年度に、土木課で、設置の基準を見直して、市街地通学路に限っては、50メートルに1カ所ずつけるといった、さらにつけられるように、運用基準を改正しました。防犯灯については、地元の区長さんや、そういった方が地域のここに必要だねということで、意見を集約して、鹿島市民総合サービス課のほうに、申し出してもらえれば、土木課で、現地確認して、原町も鹿島もありますので予算全体的に見ながら、設置をする方向で考えていきたいと思います。以上です。

○高野会長 よろしいですか。ほかにないですか。大河内委員、お願いします。

○大河内委員 質問なんですが、鹿島駅駅舎の検討会があり、土木課にお伺いしたいのが、鹿島駅の東側について、ホンダ梅田さんと西輪店さんの間の土地100メートルぐらい空いてます。例えばそこに進入路というかロータリーみたいなものをつけることは、できるのか。その駅に何処から入るのとかと。そこから入れるようになると、今の鹿島駅の陸橋のちょうど真下あたりのところに接続というか、来るんですね。なので、送り迎えの方多いと思うので、そのロータリーとか進入路だけつけたりすることができるのか、するとしたらどのぐらいお金かかるのか、用地の問題もあると思うんですけど。

○高野会長 回答をお願いいたします。

○土木課 ここにロータリーという話出しましたが、仮にロータリーをつくるためには、当然お金もありまして技術的な基準もありますし、ロータリーを作っても駅に乗り入れできないみたいなこともあるので、いま駅舎の乗入れは東側から入れないので、そういったところJRと兼ね合いも出てくると思います。6号が近く、前後に交差点、信号機もあるので、国道は極力、交差点を新たにすることが非常にハードル高いです。交差点を改築するとなると、集約するようになるとなってきます。国道6号の接続のハードルが高い部分と、仮にロータリーをつくり東側の出入りも可能にするとなると、JRの事業になるのでJRがどうかとなってきます。費用負担については市なのか、そういった話や財源をどうするという話になると思います。そこをクリアされれば、スペース的に結構広いので、6号線からの出入り、JRからの出入り、個々の問題をクリ

アできれば、スペース的には十分かなと思いますね。

○大河内委員 駐車場がないとかってということもあのですよね。スペースがあったのでそんな形で。

○土木課 費用についてはすいません。私も想像がつかないです。以上です。

○高野委員 ほかにないですか。草野委員、お願いします。

○草野委員 図面なんですけど、赤の点線部分っていうのが市街地地域っていう意味ですよ。さくらホールとか、生涯学習センター入ってますか。

○土木課 入ってないです。

○草野委員 鹿島中学校入ってますか。

○土木課 入ってます。

○草野委員 今の駅通りといいますか。寺内に結構所帯が増えてるんですよ。ですからそういう面では、赤い部分をもっと拡大してもいいんじゃないかと思っているんですけど、その辺いかがでしょうか。

○高野会長 お願いします。

○土木課 まずその市街地の道路ネットワークって考えたときに、1番初めは6号線と市街地をどういうふうに接続するかっていうところから始まったんですけども、委員の皆様と意見を交換する中で、やはり中学校の送迎とか、震災以降、寺内方面も住宅結構できましたので、中学校も含めた中で道路ネットワークを検討すべきだと。そんな中で、6号線からループ状に中学校まで行けるようなルートはどこが1番理想なのかと。そういった話になりまして、まず既存でいうと、今のセブンイレブンがある道路踏切はある程度改良されていると。南側は県道の部分ですが真野川の先、南側になるんですけども踏切改良されて、そこはフレスコを通過して養護学校の前に通って中学校のほうに抜けるようになっている。北側については、やはり横手踏切と茂手踏切、ここを何とかしないと、北側のほうは行っていないため、その道路ネットワークを考えるとときに重要な要素としては、中学校を含めネットワークを形成しました。そういったことから、真ん中の玄関口、北側の玄関口、南側の玄関口で最低3カ所は必要だということで、この赤の点線になってます。以上です。

○高野会長 よろしいですか。個々の要望がありながら決まってない中、なかなかできないと思います。次に道路を作るといった具体的な案が出てきたときには、住民の意見も聞いていくということですよ。

○土木課 はい、今後展開していくなかで、住民の意見を聞く場面が出てきます。その際に改めて検討会などで、まだどんな結論になるかはわからないところですが、住民の意見を拾い進めていきたいと考えています。

○高野会長 ありがとうございます。私の意見ということで、この鹿島区市街地の道路ネットワークではないんですけども、道路は非常に大事なものでありまして、例えば鹿島区の住民が不満を持っていて、鹿島区には皆が活用できるような施設が何もないということですが、例えば原町区にあったとしても、そこに短時間で安全に行ける道路があれば、そんな話は出てこないわけです。鹿島区の中にあったとしても、道が細かったり危険だったり、一時停止があったりクランクが多かったり、不便で行きづらいことになれば、やはり道路は、距離ではなくて、施設までの移動時間の問題なのかなと思いますので、大きな視点でも考えていただけると、無駄なお金を使わないで、鹿島区にこれをつくる、原町区の人たちも使えるということで、今後、将来に向けて活用できると思いますので、検討いただきたいなと思っております。それから、先ほどありましたが、鹿島区は昔から線路等、6号線が遠い上にすべて踏切でのアクセスしかないわけです。小高区も原町区も陸橋がありますから、鹿島区の住民は6号線に出るのが心配、海側の人は市街地に入ってくるのが心配ということがありますので、どこか1カ所、1番駐在所の前だと私は思うんですけど、その辺行きやすいようなアクセスしやすいような管理をしていただければと思います。それではこれで質疑を打ち切りたいと思います。

(2) その他

①次回開催日程について

○高野会長 それでは、(2)その他①次回開催日についてお願いします。

○地域振興課振興担当係長 次回の地域協議会の日程でございますが、7月28日月曜日、午後1時半より、鹿島区役所2階大会議室での開催を予定しております。日程が確定しましたら改めて開催通知を送付させていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。以上です。

○高野課長 委員の皆様からありますか。

○服部委員 私は、5月31日をもって退任いたします。5年2ヶ月お世話になりました。
ありがとうございました。

○地域振興課長 残任期間の推薦者について、新たに保護司会に推薦依頼をお願いしたいと思います。

○高野会長 これで本日の議題はすべて終了しました。ありがとうございました。

6 閉会

○地域振興課長 ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、第2回鹿島区
地域協議会を終了いたします。

以上のとおり相違ありません。

会 長 高野 邦弘
会議録署名人 鎌田 博信
会議録署名人 長澤 初男